

学校名	宇喜田小学校	対象学年と人数	3年 94名
活動名	グリーンカーテンプロジェクト		
指導者	学内指導者：飯野智人 遊佐陵汰 正岡奈津子 五十嵐よし子		

目標

つる科の植物を育て、グリーンカーテンを作り、カーテンの内の温度を下げるるとともに、植物を育てる中で、自然を大切にしようとする態度を育てる

成果

- えどがわエコセンターの出前授業を通して、地球温暖化が深刻な問題であることが分かり、自分たちにできることを考えることができた。
- 全員が、グリーンカーテンが太陽の光を遮り、室内を涼しくすることが分かった。
- 琉球朝顔の水やりなどの世話を通して、自然を大切にしようとする姿が多く見られた。
- 外の気温と室内の気温を図る実験を通し、グリーンカーテンが温度を下げるのに有効だと分かった。

感想・課題等

今回、グリーンカーテンづくりをなぜ行うのか、子供たちの目的意識を高められるように「出前授業」を設定した。ツバルの動画やパズルづくりを通して、地球温暖化が大きな問題であることや環境によい生活について分かり、たいへんよかった。

子供たちの感想では、「海にしずんでしまう国があることをはじめて知りました。」「これからはごみをしっかり分べつして捨てます。」「エコな生活をしていきたいです。」などこれからの生活にしっかり置き換えて考えられていることが分かった。

また、グリーンカーテンづくりでは、これまではヘチマとツルレイシを使っていたが、うまくカーテンにならなかった反省を踏まえ、琉球朝顔を使うことにした。すると、どんどんツルが伸び、青々した立派なグリーンカーテンができあがった。花も咲き、校庭から見た景観もよいものとなった。

グリーンカーテンの内と外の温度差を見る実験では、理科の学習と関連付けながら、実験することができた。学習の最後に行った振り返りでは、「グリーンカーテンが温度を下げることが分かった。」「エアコンを使わなくてもすずしかった。」「自分の家でも来年、グリーンカーテンを作りたい。」など、あがった。

グリーンカーテンの世話を通して、学年園の水やりやゴミ拾いなど環境を整えようとする態度も育ってきた。